

ツクルバが設計を担当した(株)YAMAGIWAのオフィスが日本空間デザイン賞2022～オフィス空間部門～ に入選

株式会社ツクルバ（本社：東京都目黒区、代表取締役CEO 村上 浩輝、以下「ツクルバ」）が設計デザインを担当した株式会社YAMAGIWA（本社：東京都港区、CEO 松川晋也、以下「YAMAGIWA」）の新オフィスビル（2021年5月竣工）が、2022年10月21日に発表された日本空間デザイン賞2022オフィス空間部門に入選しました。

ツクルバは、全7フロアあるうちの4、6、7階の執務空間のデザイン・設計を担当し、多様な照明を用いて、家具と内装だけでは創ることができない表情豊かな空間を実現しました。入選においては、時代性・創造性・社会性・文化性・意匠性・革新性・持続可能性について評価されました。

ツクルバはスタートアップから大企業まで様々な規模のオフィスや、コワーキングスペースの設計を手がけた知見を活かし、今後も「働く場づくり」の空間デザイン事業を進めて参ります。

・YAMAGIWA 新オフィス デザインのポイント

照明のリーディングカンパニーであるYAMAGIWAの照明に関する高い技術力・専門性と、ツクルバの空間デザインを通じた「働く場づくり」の専門性を用いて、光の力を最大限生かし、多様なワークスタイルを後押しする実用性とデザイン性を兼ね備えた空間を実現しました。

・働く場の可能性を体感できる"ライブオフィス"

4階は執務エリアであるだけでなく、“ライブオフィス”として、働く場におけるYAMAGIWAの照明・家具の実例や、それらによってもたらされる場の可能性を体感できるショールームとしての役割も果たします。エリアによって照明を細かく変えており、社員はそのときの業務内容やモードに合う場を選ぶことができます。

・フロアごとに細部までこだわった照明

フロアごとに異なるワークスタイルに合わせて、照明器具のデザインだけでなく、照度（明るさ）や色温度（色味）※など光のあり方も細かく調整を行いました。4階は色温度を3000Kと低く設定して全体に落ち着いた空間としながら、スペースによって照度（明るさ）を変えてモードに合わせて場を選べるようにしています。6階は主にエンジニアリングのためのフロアであることから、色温度を高く4000Kに設定し、作業中の不要な影を避けるために均一な配光を提供しています。

※色温度：光の色を表す指標で、ケルビン(K)という単位を用いて表されます。低い色温度では、赤味が増し落ち着いた光となり、高い色温度では、青みが増し明るく活動的な光となります。

・社員とともに、空間の役割を定義したワークショップ

3フロアある執務エリアについて、設計スタート時に社員ワークショップを開催し、「YAMAGIWAの価値創造の場」としてオフィスの在り方を社員を巻き込んで検討し、フロア毎に役割を定めました。



4階ライブオフィス エントランス正面ビックテーブル



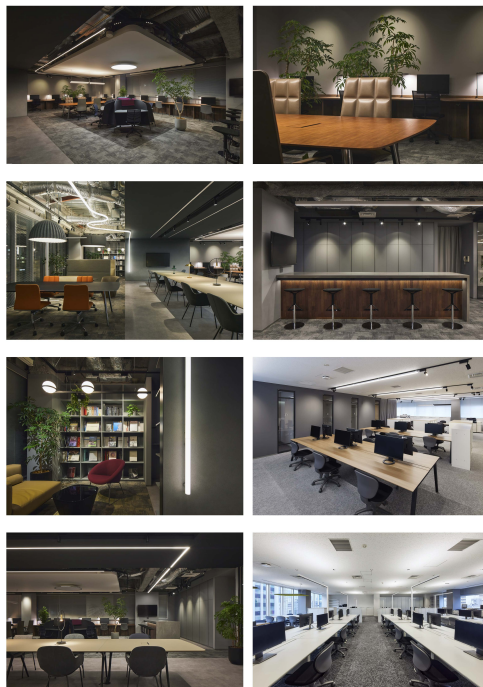
4階ライブオフィス 窓際作業コーナー



4階ライブオフィス ライブラリーコーナー



4階ライブオフィス バントリーコーナー



• 関係者コメント

小西敏子（Konishi Toshiko） / 株式会社 YAMAGIWA ソリューション事業部 東日本PDC室 デザイナー

今回のオフィス改修プロジェクトはコロナ禍中における働き方改革の一環として、YAMAGIWAにとって新しい変革をもたらしたプロジェクトであり、チャレンジでした。ツクルバさんのオフィス創りへの情熱から生まれた新しい発想とデザインが、照明とコラボレーションすることで想定以上の素晴らしい空間ができ、1年以上経過して場もうまく稼働しており、ライブオフィスへの来場数も150社を超え、大変満足いたしております。

福井悠美（Fukui Yuumi） / 株式会社ツクルバ 不動産企画デザイン部 設計グループ グループリーダー



YAMAGIWA様の照明を活かす空間デザインとして、日本空間デザイン賞に入選できたこと、大変嬉しく思います。プロジェクトの初期段階では、ワークショップを行い、YAMAGIWA様らしい新しい働き方・場の在り方を一緒に考えプロジェクトを進めていきました。ツクルバデザインの強みである、コンセプト企画から空間デザインまでを一貫した場づくりを行っています。竣工後もYAMAGIWA様で場を上手く活用頂き、YAMAGIWA様の事業へも貢献できたことに感謝致します。



この度はYAMAGIWA様と共に創らせていただいた空間が日本空間デザイン賞に入選できたことを大変嬉しく思うと同時に、一緒にプロジェクトを進めさせていただいたことを改めて感謝いたします。

YAMAGIWA様との共創の中で照明の魅力を再認識し、これからのワークプレイスにおいて照明が担う重要性がどんどん高まっていくと感じました。本プロジェクトではワークプレイスにおいて照明が創ることができる多様性をテーマにYAMAGIWA様と議論しながら、照明設計と空間設計、相互に引き立て合う空間を創れたと感じております。

■日本空間デザイン賞2022とは

2019年に誕生した日本で唯一かつ最大級の空間デザインアワードです。国内外の優秀なデザイナーや、卓越したデザイン作品を発掘し、評価をすることを目的としています。素晴らしいデザインを日本から世界に発信し、「空間デザインのちから」を多くの人々に伝えています。

<https://kukan.design/>

■ツクルバの不動産企画デザイン事業について

場作りのプロフェッショナルが集まった専門集団です。パートナー企業のアセットを最大限に活用し、新規事業開発を経営的側面からプロデュースする「事業企画」、戦略に基づいた空間を実際のカタチに落とし込む「空間企画」、場の運用開始後のコミュニティ形成や施設管理を行う「運営企画」の3つの企画を軸とした様々なソリューションを提供しています。

アイデアのみを提供するのではなく、上流から下流まで、場づくりに関わる全てを企画し、リアルな空間に落とし込み、持続可能な仕組みと一緒にデザインすることを目指しています。不動産領域に特化した企画デザインカンパニーとして、共創パートナーと新たな事業創造を追求し続けます。 <https://tsukuruba.com/business/ppd/>



＜株式会社ツクルバ 会社概要＞

やがて文化になる事業をつくり続ける場の発明カンパニー。「『場の発明』を通じて欲しい未来をつくる」というミッションのもと、デザイン・ビジネス・テクノロジーをかけあわせた場の発明を行っています。

<https://tsukuruba.com/>

会社名：株式会社ツクルバ（東証グロース、証券コード：2978）

所在地：東京都目黒区上目黒1丁目1-5 第二育良ビル2F

設立：2011年8月

代表者：代表取締役CEO 村上 浩輝

事業内容：中古・リノベーション住宅のマーケットプレイス型の流通プラットフォーム「cowcamo（カウカモ）」（<https://cowcamo.jp/>）の企画・開発・運営、家を売りたい人と買いたい人のマッチングサービス「ウルカモ」（<https://cowcamo.jp/urucamo>）の企画・開発・運営、シェアードワークプレイス「co-ba（コーバ）」（<https://co-ba.net/>）や空間プロデュースを含む不動産企画デザイン事業

株式会社ツクルバのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/43247

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

株式会社ツクルバ（広報：上堀）

TEL: 080-3501-3853 MAIL: press@tsukuruba.com